

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和元年7月1日現在）

法人名	(公財) 神奈川芸術文化財団				
設立年月日	平成5年10月25日	代表者名	理事長 玉村 和己		
所在地	神奈川県横浜市中区山下町3-1		電話番号	045-663-3711	
基本財産等	600,000,000 円	県出資額	600,000,000 円	県出資率	100.0 %

2 法人運営における現状の課題

○当財団は、神奈川県民ホール本館（以下「県民ホール」）、神奈川県立音楽堂（以下「音楽堂」）の3施設の指定管理を一体的に行っているほか、神奈川県の文化事業の受託など、県の文化施策と連動した事業を行っている。さらに、「かながわ文化芸術振興計画」において、施策の推進体制の文化芸術団体として当財団が明記されたことにより、鑑賞機会の提供のほか、教育施設や福祉施設等との連携による同計画の推進が求められている。

○平成28年度から指定管理第3期目に入ったが、指定管理者の選定経緯を踏まえ、県民の期待に責任をもって応えられるよう透明性の高い経営を行うとともに、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの推進などの計画を、着実に実現していくことが求められている。

○他方、県民ホール、音楽堂は県による改修工事を終えたが、2020年には芸術劇場が開館10年を迎え、機器の更新などの長期修繕計画が必要であり、3館ともに長寿命化、また、バリアフリー対策などの要望も多いことから、各種対策について県と協議を行いながら、小破修繕や人的対応の工夫等に努めている。

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	28年度	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価	
1	来館者数	千人	1,095 (1,000)	653 (520.25)	860 (745)	(992)	(1,020)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）					
	集客力のある催し物や貸館営業の効果や、芸術劇場のロングラン公演や主催公演の集客等により、目標値を達成したため。								
	備考								
平成30年度は県民ホール大ホール及び音楽堂の改修工事による休館、また、令和元年度は音楽堂の休館による目標値の修正を反映									

No.	項目	単位	28年度	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価
2	ホール利用率	%	92.8 (82)	84.8 (82)	93.3 (82)	(82)	(82)	A
			92.9 (80)	95.2 (80.5)	96.6 (81)	(81.5)	(82)	
			86.8 (85)	92.6 (85)	0 (0)	(85)	(85)	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
芸術劇場のロングラン公演の長期利用や、改修休館後の県民ホールの利用の順調な回復等により、目標値を達成したため。								
備考								
ホール利用率＝利用日数／利用可能日数 平成30年度は音楽堂の改修工事による休館のため、目標値の修正を反映								

No.	項目	単位	28年度	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価	
3	主催事業におけるチケット販売率	%	71.8 (72)	81.5 (72)	65.9 (72)	(72)	(72)	B	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	バレエ公演（県民ホール）や現代創作劇、海外招聘ダンス（芸術劇場）等のチケット販売が不調だったことなどにより、目標値を達成しなかったため。				主催事業のチケット販売に関する広報営業力の強化に努める。				
	備考								
主催事業におけるチケット販売率＝販売席数／販売可能席数									

No.	項目	単位	28年度	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価
4	ア 次代を担う子ども・青少年の文化芸術活動の充実		オープンシアター2016やKAATキッズプログラム2016等	オープンシアターのほか「ピノキオ～」の巡回公演（12箇所）の実施等	オープンシアターのほか「不思議の国のアリス」の巡回公演（16箇所）の実施等			A
	イ 国際文化交流の充実		TPAM（国際舞台芸術ミーティング in 横浜）等	TPAMのほかベトナムとの国際文化交流の実施等	TPAMのほか県域でのベトナムとの国際文化交流の実施等			
	ウ 文化芸術事業の発信力の強化（マグカルブランド力の向上）		白井晃芸術監督演出作品「夢の劇」・「マハゴニー市の興亡」、情報誌「神奈川芸術プレス」リニューアル等	一柳慧及び白井晃の両芸術監督によるプロジェクト「ミュージック・クロスロード」の実施等	一柳慧及び白井晃の両芸術監督によるプロジェクト「メモリー・オブ・ゼロ」の実施等			
	エ 文化芸術の振興を図るための環境整備		芸術劇場の調光システム部品交換、音楽堂客席座面更新、舞台技術ワークショップ、文化政策報告書作成等	県民ホールの長期休館への対応、音楽堂の長期休館に向けた準備、舞台技術ワークショップ、文化政策報告書作成等	県民ホール及び音楽堂の長期休館への対応、舞台技術ワークショップ、県内文化施設職員向け講座の実施等			
<p>子ども・青少年を対象とした鑑賞・参加型事業をさらに充実させるとともに、公演等の実施に合わせた講座やワークショップ等を開催して豊かな芸術体験を提供し、観客の育成や裾野の拡大に取り組む。（教育普及活動の推進）</p> <p>2020年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を中心的なターゲットとし、海外の劇場・芸術団体との相互交流を推進する。</p> <p>先駆的でオリジナリティあふれる舞台芸術や音楽、芸術等を創造し、神奈川の魅力と発信力を高めることで、「マグネット・カルチャー」の考え方に沿った事業を3館でそれぞれ推進していく。また、県のマグカル事業に、芸術劇場を中心に協力する。</p> <p>県民ホール本館、芸術劇場、音楽堂という文化施設を熟知し、日々運営している団体として、引き続き長期修繕や施設改良に関する提案を県に行う。また、全国の劇場・音楽堂のモデルケースとなるような専門人材の育成に取り組む。</p>								

<p>オ 伝統的な文化芸術の発信・継承</p>	<p>音楽堂雅楽公演（新作委嘱含）等</p>	<p>女義太夫、創作日本舞踊、聲明（新作委嘱含）等の実施</p>	<p>現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する木ノ下歌舞伎等の実施</p>		
<p>自己評価の理由</p>			<p>今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）</p>		
<p>キッズプログラムの巡回、ベトナムとの県域での国際文化交流、芸術監督企画の充実、施設の長期休館への対応、古典演目の上演等、幅広く対応した。</p>					
<p>備考</p>					
<p>平成30年度末に、本項目の柱立てとして参考にした県の文化芸術振興計画が改定された。</p>					

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	28年度	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価
5	利用料金収入	千円	445,405 (380,000)	309,406 (191,920)	466,446 (303,840)	(376,760)	(383,680)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	芸術劇場のロングラン公演の長期貸館利用等により、目標値を達成したため。							
	備考							
平成30年度は県民ホール大ホール及び音楽堂の改修工事による休館、また、令和元年度は音楽堂の休館により、目標値の修正を反映								

No.	項目	単位	28年度	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価
6	事業収入比率	%	50.4 (48)	57.3 (48)	48.6 (48)	(48)	(48)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	芸術劇場の主催事業のチケット販売が好調であった。							
	備考							
事業収入比率＝事業収入／事業総支出								

No.	項目	単位	28年度	29年度	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価		
7	外部資金獲得増に向けての取組	第1段階 (平成28～29年度)	クラウドファンディング業者や信託銀行等のヒアリング、ファンドレイズ関係の研修受講と資格取得等	インターネットを經由しての寄付の受付を開始した(クレジットカード決済)				A		
		第2段階 (平成29～令和2年度)		インターネットを經由しての寄付の仕組みの整備(クラウドファンディング)／信託銀行等とのタイアップによる寄付の仕組みの整備	賛助会員 54社14名 6,770千円 (うちインターネット経由 2名60千円)	賛助会員 45社13名 5,720千円 (うちインターネット経由3名120千円) 寄付型クラウドファンディング 1者3千円				
		第3段階 (令和元～2年度)								
自己評価(目標未達の場合はその理由)			今後の取組方針(目標未達の場合は必ず記載)							
民間のクラウドファンディングのシステムを活用し、平成29年度に整備した個別協賛システム(ワンタイム・アートサポート)により、初めて1件の寄付があった。										
備考										

4 取組実績等についての総括（法人）

○指定管理期間に合わせて新たに策定した、平成28年度から令和2年度までの第5次経営改善計画に基づき、様々な取組を行っている。なお、平成31年3月には音楽堂の改修工事による休館を踏まえた目標値の改定を行い、適切な目標管理に努めている。

○平成30年度は、2名の芸術監督の方針のもと、3館合同プロジェクトや各施設の特長や専門人材を生かした事業のほか、キッズプログラム、国内外の劇場との連携、ベトナム等との国際文化交流等を行った。また、改修工事休館となった音楽堂は、県西2市8町の各市町村、教育委員会、文化施設と協働し、アウトリーチに取り組み、地域の文化振興に寄与する試みを行った。

○継続した営業努力により、芸術劇場は劇団四季のロングラン公演の長期利用、また、都心部の劇場のオリパラを前にした改修や建替えによる休館や閉館による劇場不足の貸館需要の増加への対応により、県民ホール休館後の貸館利用において好調な回復を得ることができ、来館者数、利用率、利用料金収入ともに目標値を上回る実績となった。

○平成30年度は文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業」の補助金など、多額の国庫補助を得たほか、様々な外部資金の獲得にも努め事業内容の充実を実現できた。

○個人顧客組織「かながわメンバーズ（愛称：KAme）」については、無料定期メールマガジン発行や会員限定先行予約の受付などのサービスを提供し、平成30年度末の会員は110,279人（前年度末比17,700人の増）となり、継続して増加してきており、安定的なチケット販路として活用されている。

○「かながわ文化芸術振興計画」に基づき、子ども・青少年の文化活動や国際文化交流の充実とともに、県と当財団との連携のもと、芸術劇場の機能を活用した神奈川オリジナル作品の創作や、地域の文化振興などが期待されている。各館それぞれの事業やサービスの一層の向上を図り、経営改善目標の達成に向けて取り組んでいく。

5 取組実績等についての総括（所管課）

○平成30年度は、音楽堂の大規模改修工事による休館に伴う経営改善目標の修正を行ったが、取組実績では来館者数、ホール利用率、利用料金収入など、主催事業におけるチケット販売率を除くすべての項目で目標値を達成しており、指定管理者による適切な管理体制がなされていると考える。特に、利用料金収入では、平成29年度に続き芸術劇場のロングラン公演による長期貸館利用等が目標値を大幅に上回るなど、収入増に向けた工夫がなされていた。

○また、平成29年度に開始した民間のクラウドファンディングを活用した個別協賛システムでも寄付を獲得するなど、新たな賛助会員獲得に向けた取組も行われている。

○事業では、3館合同事業に加え、国内外の劇場との連携やベトナムとの国際文化交流事業など、県内の様々な場所での芸術文化体験機会の提供も行っており、今後も「かながわ文化芸術振興計画」に基づき、県域での文化芸術の振興に取り組むとともに、引き続き、各館の特長を生かした効果的な事業の展開に努めていただきたい。